

地域の実情把握とネットワーク作りについて

<目的>

「地域で出来ることは、地域で行う」を基本として、各地区部会活動を展開していますが、これら実態の詳細については、未確認な状態であることから、各地区部会エリアにおける地域活動（主に中央区支え合いのまち推進計画の内容）の実情を把握し、地域の課題を整理して、解決に向け支援していくと共に、今後介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業に対応しうる地域のネットワーク構築を目指します。

<経緯>

- ①H27.7.15、当区長から、推進計画を進める上で、地域の実情について具体的に把握することが大切であるとの話がありました。
そして、地域の実情を知るには、まず地区部会を窓口とし、地域活動について実際に現場に向いて情報収集をすることが必要であると考えました。
- ②翌日（7/16）、社会福祉協議会中央区事務所へ本件を説明し、協力を得るため打合わせを行いました。
- ③H27.8.6、社協、地域づくり支援室、健康課、高齢障害支援課で、実情把握の方法等を検討しました。
その結果、地域支援に貢献しているあんしんケアセンターにも参加してもらい、地域のネットワーク作りのために一緒に活動していただきたいと考えました。
- ④H27.9.10、あんしんケアセンターへ本件を説明し、協力を得るための打合わせを行いました。
（社協、健康課、高齢障害支援課が出席）
その中で、他地区の実情を知り、自分の地域で生かすため、地区部会役員兼中央区支え合いのまち推進協議会委員の方にも参加していただきたいと意見がありました。
- ⑤H27.9.25、地区部会連絡会の総会において、16地区部会へ協力を得るため本件を説明しました。
各会長から、具体的にどんな内容を徴取したいのか教えてほしい旨要請があり、その内容をお示しすることとなりました。考えております。
- ⑥H27.10.13、あんしんケアセンター、健康課、高齢障害支援課で「どの部署がどの地区部会に行くのか」、「地区部会への具体的な聞き取り内容」を検討いたしました。
聴取に行く地区部会については現状未定。
聴取内容については、それぞれの部署から意見を寄せてアンケート書式を作成。今後の介護保険におけるDSやヘルパー代用支援の有無やその体制について聴取することとなりました。
- ⑦聴取内容をお示しして了解を得られた2地区部会（蘇我、末広）へ高齢障害支援課が聴取を行いました。
蘇我地区部会には、聴取実施。
末広地区部会には、同地区から管内の町内自治会への現状確認を依頼。